

Health-related quality of life and work productivity in Japanese patients with primarily stable ANCA-associated vasculitis: A multicenter cross-sectional study

主に安定期にある日本人 ANCA 関連血管炎患者における健康関連 QoL および労働生産性: 多施設共同横断研究

平原 慎也

ANCA 関連血管炎 (AAV) は、主として小型血管を侵す全身性の壊死性血管炎であり、患者さんの健康関連 QoL (HRQoL) に大きな影響を及ぼすことが知られています。本研究では、日本の 3 つの大学病院に通院中の AAV 患者さん 92 名を対象に、汎用的な尺度 (SF-36、EQ-5D-5L、WPAI) を用いて、日本人患者における HRQoL の実態と労働生産性への影響を詳細に調査しました。

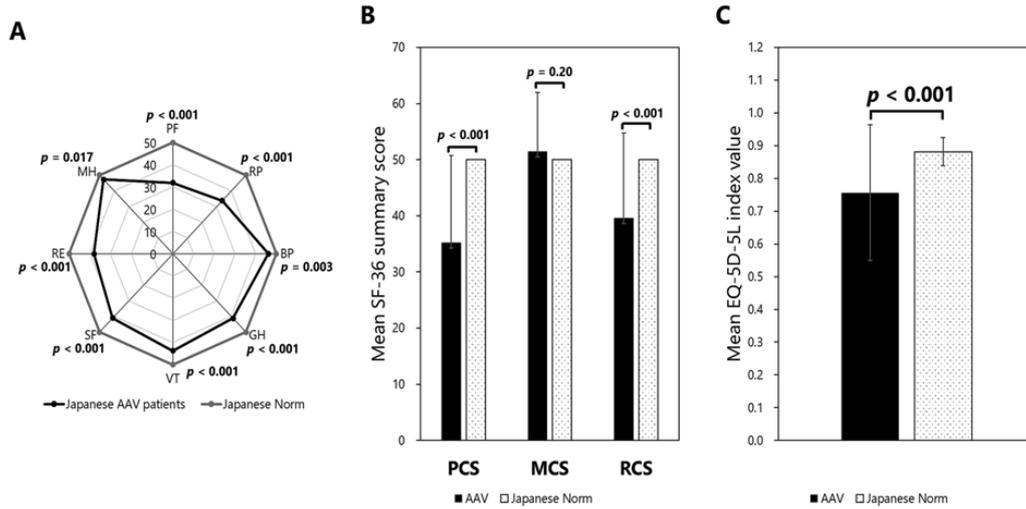
調査の結果、日本人 AAV 患者さんの HRQoL は、SF-36 の全 8 つの下位尺度、および身体的サマリースコア (PCS)、役割機能サマリースコア (RCS)、さらには EQ-5D-5L index 値のいずれにおいても、日本国民全体の国民標準値と比較して有意に低いことが明らかになりました。また、これらは疾患活動性 (BVAS) や臓器障害の蓄積 (VDI) と負の相関を示していました。

さらに、就労中の患者さん (25 名) においては、病気による欠勤・休職 (absenteeism) や、健康問題による労働遂行能力の低下 (presenteeism) といった労働生産性の低下が認められました。特に HRQoL が低い患者群では、これらの労働生産性の損失がより顕著であることも確認されました。

本研究は、日本人 AAV 患者さんの診療において、臨床的な指標の管理にとどまらず、HRQoL や労働生産性の維持・向上を目指した包括的な治療戦略を検討することの重要性を浮き彫りにしています。

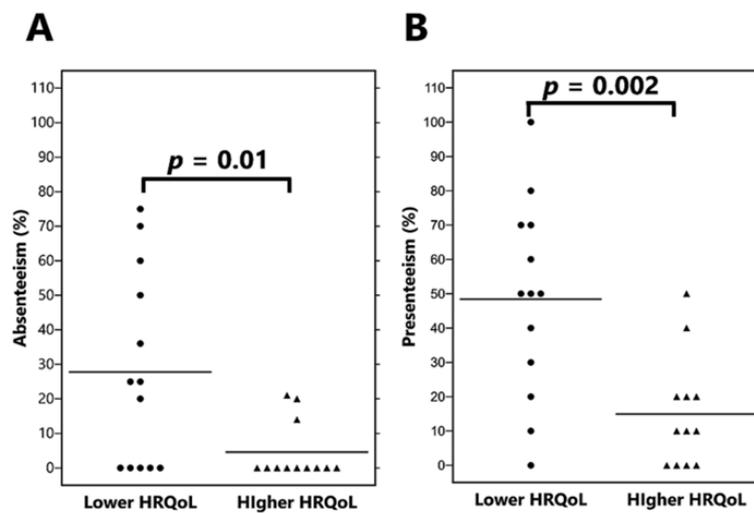
<https://doi.org/10.1093/mr/roaf044>

AAV患者と一般人口におけるSF-36下位尺度/サマリースコアおよびEQ-5D-5L指標値の比較。
 (A)日本人AAV患者のSF-36下位尺度スコアと国民標準値の比較。
 (B) AAV患者のSF-36サマリースコアと国民標準値の比較。
 (C) AAV患者のEQ-5D-5L指標値と国民標準値の比較。



Hirahara S, et al. Mod Rheumatol 2025;35(6):974-980, Figure 1

HRQoLが低いAAV患者と高いAAV患者における、(A)病気による欠勤・休職 (absenteeism)と、(B)健康問題による労働遂行能力の低下 (presenteeism)の比較。



Hirahara S, et al. Mod Rheumatol 2025;35(6):974-980, Figure 2